

(様式第 10)

番 号  
平成 28 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

公益財団法人がん研究会 有明病院  
開設者名 公益財団法人がん研究会  
理事長 草刈 隆郎 (印)

公益財団法人がん研究会有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31
氏 名	公益財団法人がん研究会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

公益財団法人がん研究会有明病院
-----------------

3 所在の場所

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31	電話( 03 ) 3520 - 0111
--------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input checked="" type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 呼吸器内科 2 消化器内科 3 乳腺内科 4 血液内科 5 腫瘍内科	
6 感染症内科 7 漢方内科 8 疼痛緩和内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="checkbox"/>	有	・	無
外科と組み合わせた診療科名				
1 呼吸器外科 2 消化器外科 3 乳腺外科 4 整形外科 5 形成外科				
6 頭頸部外科				
診療実績				

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input type="checkbox"/> 1精神科	<input type="checkbox"/> 2小児科	<input type="checkbox"/> 3整形外科	<input type="checkbox"/> 4脳神経外科	<input type="checkbox"/> 5皮膚科	<input type="checkbox"/> 6泌尿器科	<input type="checkbox"/> 7産婦人科
<input type="checkbox"/> 8産科	<input type="checkbox"/> 9婦人科	<input type="checkbox"/> 10眼科	<input type="checkbox"/> 11耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 12放射線科	<input type="checkbox"/> 13放射線診断科	
<input type="checkbox"/> 14放射線治療科	<input type="checkbox"/> 15麻酔科	<input type="checkbox"/> 16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="checkbox"/>	有	・	無		
歯科と組み合わせた診療科名						
1	2	3	4	5	6	7
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1病理診断科	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0床	0床	0床	0床	700床	700床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	342人	171人	379.0人	看 護 補 助 者	88人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	7人	4人	7.7人	理 学 療 法 士	8人	臨 床 検 査 技 師	80人
薬 剤 師	61人	0人	61人	作 業 療 法 士	1人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	2人	そ の 他	0人
助 産 師	0人	0人	0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	775人	18人	786.7人	臨 床 工 学 士	10人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	8人
准 看 護 師	6人	1人	6.5人	栄 養 士	1人	そ の 他 の 技 術 員	28人
歯 科 衛 生 士	6人	人	6.0人	歯 科 技 工 士	人	事 務 職 員	199人
管 理 栄 養 士	10人	人	10.0人	診 療 放 射 線 技 師	83人	そ の 他 の 職 員	218人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	8人	眼 科 専 門 医	3人
外 科 専 門 医	70人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	14人
精 神 科 専 門 医	3人	放 射 線 科 専 門 医	23人
小 児 科 専 門 医	0人	脳 神 経 外 科 専 門 医	0人
皮 膚 科 専 門 医	0人	整 形 外 科 専 門 医	7人
泌 尿 器 科 専 門 医	8人	麻 酔 科 専 門 医	24人
産 婦 人 科 専 門 医	15人	救 急 科 専 門 医	4人
		合 計	179人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 山口 俊晴 ) 任命年月日 平成 27 年 6 月 1 日

2008.11~2015.6 (6年8ヶ月) がん研究会有明病院医療安全管理委員会委員長  
 2015.7~ がん研究会有明病院医療安全管理委員会オブザーバーとして参加

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	622 人	0 人	622 人
1日当たり平均外来患者数	1,729 人	57 人	1,786 人
1日当たり平均調剤数	1788 剤		
必要医師数	165 人		
必要歯科医師数	2 人		
必要薬剤師数	23 人		
必要(准)看護師数	369 人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	422.31m <sup>2</sup>	SRC	病床数	10 床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 133.16 m <sup>2</sup> 台数 台	病床数		8 床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 47.06 m <sup>2</sup> 共用する室名				
化学検査室	416.7m <sup>2</sup>	SRC	日立ラボスペクト008,日立ラボスペクト006, アーキテクトi2000,ルミパルスプレスト,ルミパルスG1200, ラボフレックス3500,コールターDXH,STA-R,US-3100R, FOBIT-WAKO			
細菌検査室	78.25m <sup>2</sup>	SRC	マイクロキャンWalkAway96, コバスTaqMan48			
病理検査室	378m <sup>2</sup>	SRC	免疫染色装置、FISH解析装置、DISH解析装置、HE自動染色装置、OSNA法による転移診断装置、PCR装置、PT-PCR装置、シーケンサー(Sanger型)など			
病理解剖室	72.25m <sup>2</sup>	SRC	写真撮影装置、ストライカーなど			
研究室	1,519m <sup>2</sup>	SRC	遺伝子解析システム、サーマルサイクラーなど			
講義室	370m <sup>2</sup>	SRC	室数	3 室	収容定員	272 人
図書室	161.38m <sup>2</sup>	SRC	室数	1 室	蔵書数	22,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成 年 月 日～平成 年 月 日	
紹介率	103.7 %	逆紹介率	63.9 %
算出根拠	A：紹介患者の数	12,450	人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,033	人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	587	人
	D：初診の患者の数	12,572	人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学 附属さいたま 医療センター 教授（医師）	○	客観的・専門的見地から意見等を述べるという委員会の性格に鑑み、医療安全を専門としている教授（医師）を構成員とした。	有・無	1
大滝 恭弘	帝京大学板橋 キャンパス医療 共通教育研究 センター 准教授（弁護士）		客観的・専門的見地から意見等を述べるという委員会の性格に鑑み、法律の専門家、医療ジャーナリズムに詳しい学識経験者（弁護士）方を構成員とした。	有・無	1
滝澤 邦夫	有明友の会 会長 (患者代表)		客観的・専門的見地から意見等を述べるという委員会の性格に鑑み、患者会代表者の立場の方を構成員とした。	有・無	2
關根 今生	がん研究会 有明病院 医師		以前に、症例検討会で中心的に関わっていたことがあり、適切と考え、構成員とした。	有・無	3
斎藤 彰一	がん研究会 有明病院 医師		前職で医療安全の経験があるため、適切と考え、構成員とした。	有・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

### 13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無		有・無
委員の選定理由の公表の有無		有・無
公表の方法 がん研究会有明病院ホームページ		

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん)	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	15人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	2人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	40人
RET遺伝子診断(※平成28年4月保険導入)	9人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	リスク低減両側卵巣卵管切除術(RRSO)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 対象者に対して遺伝カウンセリングを行い、リスク低減両側卵巣卵管切除術(RRSO)を希望した場合に①開腹単純子宮全摘術および両側付属器切除術②開腹両側付属器切除術③腹腔鏡下单純子宮全摘術および両側付属器切除術④腹腔鏡下両側付属器切除術に関してそれぞれ説明の上で、いずれかを施行することにより未発症の卵巣・卵管がんの発生リスクを軽減する。			
医療技術名	腹腔鏡・内視鏡合同結腸楔状切除術(Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery - Colorectal) (LECS-CR)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 内視鏡治療の困難あるいは不可能な大腸粘膜下腫瘍、大腸腺腫、大腸粘膜内癌に対して、内視鏡治療のできない上記疾患に対しては病変部位を含んで大腸を管状に切除し、上皮性の腫瘍の場合には不必要にリンパ節廓清を行っていた。この不必要な大腸の管状切除及びリンパ節廓清を省略し、内視鏡を用いることで病変部位のみを十分な切除断端を確保しながら切除する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	0	56	ベーチェット病	15
2	筋萎縮性側索硬化症	0	57	特発性拡張型心筋症	1
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	6
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	0	60	再生不良性貧血	4
6	パーキンソン病	5	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	0	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	10
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	0
11	重症筋無力症	1	66	IgA腎症	0
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	0
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	0	68	黄色靱帯骨化症	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	0	69	後縦靱帯骨化症	0
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	0
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	0
17	多系統萎縮症	1	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	0	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	0
21	ミトコンドリア病	0	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	1	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	2	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	5
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	0
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	0
34	神経線維腫症	4	89	リンパ脈管筋腫症	0
35	天疱瘡	0	90	網膜色素変性症	0
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	0	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	1
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	0	95	自己免疫性肝炎	1
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	7
42	結節性多発動脈炎	0	97	潰瘍性大腸炎	82
43	顕微鏡的多発血管炎	0	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	0	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	0	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	0	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	2	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	0	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	0	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	0	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	2	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	0	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	1	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	0
113	筋ジストロフィー	0	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	2	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	0
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科外来診療環境体制加算	・
・特定機能病院入院基本料7:1	・
・診療録体制加算1	・
・医師事務作業補助体制加算1(40:1)	・
・急性期看護補助体制加算(50:1)	・
・看護職員夜間配置加算(12:1)1	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・緩和ケア診療加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全管理加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・総合評価加算	・
・病棟薬剤師実務加算1	・
・データ提出加算	・
・退院支援加算2	・
・特定集中治療室管理料3	・
・緩和ケア病棟入院料	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん性疼痛緩和指管理料	・外来化学療法加算1
・がん患者指管理料1	・無菌製剤処理料
・がん患者指管理料2	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
・がん患者指管理料3	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・外来緩和ケア管理料	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
・外来放射線照射診療料	・がん患者リハビリテーション料
・ニコチン依存症管理料	・リンパ浮腫複合的治療料
・がん治療計画策定料	・集団コミュニケーション療法料
・薬剤指管理料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・医療機器安全管理料1	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・医療機器安全管理料2	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・歯科治療総合医療管理料	・CAD/CAM冠
・遺伝子検査	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(管理ジェノタイプ判定)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・国際標準検査管理加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・遺伝カウンセリング加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・ロービジョン検査判断料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・画像診断管理加算1	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・画像診断管理加算2	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・CT撮影及びMRI撮影	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・乳房MRI撮影加算	・腹腔鏡下肝切除術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・
・人工尿道括約筋植込・置換術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・
・輸血管理料Ⅱ	・
・人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・麻酔管理料Ⅰ	・
・麻酔管理料Ⅱ	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・対外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・病理診断管理加算2	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・RET遺伝子診断(※平成28年4月保険導入)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年 12 回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 8 例 / 剖検率 1.54 %



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
わが国における遺伝性乳癌卵巣癌の臨床遺伝学的特徴の解明と遺伝子情報を用いた生命予後の改善に関する研究	新井 正美	遺伝子診療部	5,864,000	補	厚生労働省
がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の運用と他がん登録との連携	小塚 拓洋	放射線治療部	100,000	補	厚生労働省
全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNCD長期予後入力システムの構築に関する研究	佐野 武	消化器外科	150,000	補	厚生労働省
腹腔外発生デスマイト腫瘍患者の実態把握および診療ガイドライン確立に向けた研究	阿江 啓介	整形外科	90,000	補	厚生労働省
先端がん医療実施のための地域完結型病理診断および臨床・病理連携ネットワークの構築	石川 雄一	病理部	500,000	補	厚生労働省
がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に関する研究	服部 政治	がん疼痛緩和部	2,300,000	補	厚生労働省
バイオマーカーを用いた肝細胞癌の新規画像診断システムの構築と治療への応用的展開	石沢 武彰	消化器外科	100,000	補	文部科学省
ヘリコバクター属感染と膵がん・胆道がんのリスク	笹平 直樹	消化器外科	300,000	補	文部科学省
包括的脂肪・糖代謝解析による肥満に伴う泌尿器癌進展の分子機序解明と克服	湯浅 健	泌尿器科	200,000	補	文部科学省
FFT法と領域法を組み合わせたDNA ploidy解析によるがん診断法の研究	神田 浩明	病理部	100,000	補	文部科学省
大腸癌同一症例原発／転移組織を用いたプロテオーム解析による血中転移マーカーの開発	長山 聡	消化器外科	100,000	補	文部科学省
基礎研究解析データに基づく大腸がん新規治療薬のバイオマーカー探索	末永 光邦	消化器内科	1,600,000	補	文部科学省
ヒトパピローマウイルス感染と発がんー臓器横断的解析ー	佐藤 由起子	病理部	100,000	補	文部科学省
肺線維症から肺腺癌の発生機序の解明、特にmiRNAの役割について	松原 修	病理部	2,500,000	補	文部科学省
融合遺伝子肺癌の腫瘍内多様性獲得がコンパニオン病理診断に及ぼす影響	元井 紀子	病理部	1,400,000	補	文部科学省
胃消化管間質腫瘍の亜型と悪性度の解明ー非コードRNAからのアプローチ	高澤 豊	病理部	900,000	補	文部科学省
食道癌新規治療法の確立に向けた食道癌間質ゲノムの網羅的解析	井田 智	消化器外科	1,400,000	補	文部科学省
食道扁平上皮癌におけるがん代謝を制御する分子機序の網羅的解析	渡邊 雅之	消化器外科	1,400,000	補	文部科学省
腫瘍内HER2不均一発現を呈する胃癌のトラスツズマブ耐性機序の分子生物学的解明	若槻 尊	消化器内科	900,000	補	文部科学省
全エクソシーケンスによる直腸癌術前放射線化学療法効果予測遺伝子の同定	秋吉 高志	消化器外科	1,800,000	補	文部科学省

消化器癌の新規バイオマーカー開発をめざしたDNA脱メチル化関連酵素の網羅的解析	渡邊 雅之	消化器外科	100,000	補	文部科学省
肺癌におけるlong noncoding RNAの発現解析	飯塚 利彦	病理部	400,000	補	文部科学省
画像誘導放射線治療における計算フィルター及物理フィルターによる画質改善	作美 明	放射線治療部	790,000	補	文部科学省
消化器癌におけるlincRNAの網羅的発現解析ならびに機能解析	日吉 幸晴	消化器外科	900,000	補	文部科学省
SDF-1/CXCR4シグナルを標的とした乳癌骨転移に対する新規治療法の開発	小林 隆之	総合腫瘍科	1,200,000	補	文部科学省
腎細胞がんにおける新しい分子標的治療およびバイオマーカーの開発	湯浅 健	泌尿器科	1,200,000	補	文部科学省
癌幹細胞の生物学的特性を加味した新しい大腸癌治療戦略の確立	長山 聡	消化器外科	1,100,000	補	文部科学省
ALK融合遺伝子肺癌におけるゲノム不安定性	二宮 浩範	病理部	1,300,000	補	文部科学省
類内膜腺癌の個別化医療を目指したゲノムワイドな原因遺伝子・分子標的探索	杉山 裕子	細胞診断部	1,500,000	補	文部科学省
造血幹細胞移植を受ける患者のQOLと知識、学習性無力感、自己効力感との関係の解明	鈴木 美穂	看護部	900,000	補	文部科学省
術中超音波ナビゲーションシステムを用いた系統的肝切除手術の開発	三瀬 祥弘	消化器外科	600,000	補	文部科学省
FGFR2を標的とした食道胃接合部癌に対する新規治療法の確立	今井 裕	消化器外科	1,000,000	補	文部科学省
液状検体を用いた唾液腺癌の診断および予後因子の検討	佐藤 由起子	病理部	500,000	補	文部科学省
仮想X線画像を用いた新しい患者セットアップシステムの開発	橋本 成世	放射線治療部	2,300,000	補	文部科学省
ステージⅢ胃癌に対する術前診断の妥当性研究:術前補助化学療法への転換を目指して	大橋 学	消化器外科	24,109,693	委	日本医療研究開発機構
施設代表者として臨床試験への症例登録と治療の実施	西尾誠人	呼吸器内科	769,231	委	日本医療研究開発機構
局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する至適化学療法に関する検討	西尾誠人	呼吸器内科	769,231	委	日本医療研究開発機構
経血管治療IVRに関する研究	松枝 清	画像診断部	769,231	委	日本医療研究開発機構
小線源治療支援用画像診断機器の開発の研究	小口正彦	放射線治療部	333,334	委	日本医療研究開発機構
臨床情報収集、検体採取、外科治療	辻 英貴	眼科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究	陳 勁松	消化器化学療法科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
外科手術手技の客観的評価と科学的根拠に基づいた標準治療開発のための多施設共同第三相無作為化試験の確立	斎浦明夫	肝胆膵外科	700,000	委	日本医療研究開発機構
早期子宮頸がんに対する準広汎子宮全摘術の有益性を検証する研究	竹島信宏	婦人科	810,000	委	日本医療研究開発機構
高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究	石川雄一	病理部	692,308	委	日本医療研究開発機構
Adolescent and young adult (AYA)世代に及ぶ骨・軟部肉腫ならびに固形がんに対する妊娠、晩期合併症に考慮した治療プロトコール開発に関する研究	角美奈子	放射線治療部	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	松本誠一	整形外科	700,000	委	日本医療研究開発機構

上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	竹島信宏	婦人科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
LC-SCRUMにおけるRET肺がん患者のスクリーニングとRET肺がんに対するアレクチニブの医師主導治験(ALL-RET)の実施	西尾誠人	呼吸器内科	5,346,154	委	日本医療研究開発機構
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	小口正彦	放射線治療部	461,538	委	日本医療研究開発機構
光子線を用いた放射線療法のすべての治療装置に対応した患者個々の治療の品質保証法の確立	高橋 良	放射線治療部	435,000	委	日本医療研究開発機構
切除可能進行胃癌に対する網膜切除の意義に関する研究	布部創也	消化器外科	700,000	委	日本医療研究開発機構
効果判定、PETのQA/QC	寺内隆司	核医学部	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
臨床病期I/II/III食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	渡邊雅之	消化器外科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
高度腹水を伴うまたは経口摂取不能の腹膜転移を有する胃癌に対する5-FU/1-LV療法vsFLTAX療法のランダム化第II/III相比較試験	陳 勁松	消化器化学療法科	500,000	委	日本医療研究開発機構
グレリン投与による高齢者食道癌手術の安全性向上に関するランダム化第2相試験	渡邊雅之	消化器外科	900,000	委	日本医療研究開発機構
切除不能腺癌に対する標準治療の確立に関する研究	尾阪将人	消化器内科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
肥満関連癌症例の血液試料分析による肥満関連癌のバイオマーカーの同定	長山 聡	消化器外科	1,500,000	委	日本医療研究開発機構
生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	大野真司	乳腺外科	3,650,000	委	日本医療研究開発機構

計 13  
合計 58

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Arita, J., Ono, Y., Takahashi, M., Inoue, Y., Takahashi, Y., Matsueda, K. and Saiura, A.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Routine preoperative liver-specific magnetic resonance imaging does not exclude the necessity of contrast-enhanced intraoperative ultrasound in hepatic resection for colorectal liver metastasis.	Ann. Surg., 262 (6): 1086-91, 2015
2	Inoue, Y., Arita, J., Sakamoto, T., Ono, Y., Takahashi, M., Takahashi, Y., Kokudo, N. and Saiura, A.	Department of Gastrointestinal Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan daggerDivision of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Department of Surgery, The Jikei University School of Medicine Minato-ku, Tokyo, Japan double daggerDivision of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Japan.	Anatomical liver resections guided by 3-dimensional parenchymal staining using fusion indocyanine green fluorescence imaging.	Ann. Surg., 262 (1): 105-11, 2015
3	Inoue, Y., Saiura, A., Arita, J. and Takahashi, Y.	Department of Gastrointestinal Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan .	Hepatic vein-oriented liver resection using fusion indocyanine green fluorescence imaging.	Ann. Surg., 262 (6): e98-9, 2015
4	Inoue, Y., Saiura, A., Yoshioka, R., Ono, Y., Takahashi, M., Arita, J., Takahashi, Y. and Koga, R.	Department of Gastrointestinal Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan daggerDivision of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Tokyo, Japan; and double daggerDepartment of Gastroenterological Surgery, Koga General Hospital, Miyazaki, Japan.	Pancreatoduodenectomy with systematic mesopancreas dissection using a supracolic anterior artery-first approach.	Ann. Surg., 262 (6): 1092-101, 2015
5	Inoue, Y., Saiura, A., Ishizawa, T. and Takahashi, Y.	Department of Gastrointestinal Surgery Cancer Institute Hospital Japanese Foundation for Cancer Research Tokyo, Japan.	Wide applicability and various advantages of supracolic anterior artery-first approach in pancreatoduodenectomy.	Ann. Surg.: 10.1097/SLA.0000000001336, 2015
6	Ono, Y., Matsueda, K., Koga, R., Takahashi, Y., Arita, J., Takahashi, M., Inoue, Y., Unno, T. and Saiura, A.	Departments of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Sinistral portal hypertension after pancreaticoduodenectomy with splenic vein ligation.	Br. J. Surg., 102 (3): 219-28, 2015

7	Irino, T., Nunobe, S., Hiki, N., Yamamoto, Y., Hirasawa, T., Ohashi, M., Fujisaki, J., Sano, T. and Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Laparoscopic–endoscopic cooperative surgery for duodenal tumors: a unique procedure that helps ensure the safety of endoscopic submucosal dissection.	Endoscopy, 47 (4): 349–51, 2015
8	Nishio, M., Murakami, H., Horiike, A., Takahashi, T., Hirai, F., Suenaga, N., Tajima, T., Tokushige, K., Ishii, M., Boral, A., Robson, M. and Seto, T.	The Cancer Institute Hospital of JFCR, Tokyo, Japan; daggerShizuoka Cancer Center, Shizuoka, Japan; double daggerNational Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan; section signNovartis Pharma K.K., Tokyo, Japan; paragraph signNovartis Pharmaceuticals Corporation, East Hanover, New Jersey; and   Novartis Institutes for Biomedical Research, Cambridge, Massachusetts.	Phase I study of ceritinib (LDK378) in Japanese patients with advanced, anaplastic lymphoma kinase–rearranged non–small–cell lung cancer or other tumors.	J. Thorac. Oncol., 10 (7): 1058–66, 2015
9	Saeki, H., Watanabe, M., Mine, S., Shigaki, H., Oya, S., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Baba, H., Maehara, Y. and Sano, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3–8–31 Ariake, Koto–ku, Tokyo, 135–8550, Japan.	Esophagectomy for superficial esophageal cancer after non–curative endoscopic resection.	J. Gastroenterol., 50 (4): 406–13, 2015
10	Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Shimizu, T., Miyamoto, Y., Tomida, H., Taniguchi, C., Morishige, K., Omae, M., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Igarashi, M., Nakajima, T. and Takahashi, H.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, 3–10–6 Ariake, Koto–ku, Tokyo, 135–8550, Japan, yusuke.horiuchi@jfc.or.jp.	Biological behavior of the intramucosal Helicobacter pylori–negative undifferentiated–type early gastric cancer: comparison with Helicobacter pylori–positive early gastric cancer.	Gastric Cancer, 19 (1): 160–165, 2016
11	Honda, M., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Kumagai, K., Hashimoto, Y., Mine, S., Kamiya, S., Sano, T. and Yamaguchi, T.	Preoperative vs postoperative eradication of helicobacter pylori in 150 patients with gastric cancer: A randomized controlled trial.	Preoperative vs postoperative eradication of helicobacter pylori in 150 patients with gastric cancer: A randomized controlled trial.	J. Am. Coll. Surg., 221 (2): 273–9, 2015

12	Kato, K., Matsuura, M. and Takeshima, N.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Electronic address: kazuyosikato@gmail.com. Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan.	Secondary debulking surgery for isolated para-aortic nodal recurrence in endometrial cancer requiring partial resection of the inferior vena cava.	Gynecol. Oncol., 139 (3): 580-581, 2015
13	Kato, K., Usami, T. and Takeshima, N.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Electronic address: kazuyosikato@gmail.com. Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan.	Secondary debulking surgery for isolated para-aortic nodal recurrence in ovarian cancer involving the division of the left renal vein.	Gynecol. Oncol., 137 (1): 188-9, 2015
14	Umayahara, K., Takekuma, M., Hirashima, Y., Noda, S. E., Ohno, T., Miyagi, E., Hirahara, F., Hirata, E., Kondo, E., Tabata, T., Nagai, Y., Aoki, Y., Wakatsuki, M., Takeuchi, M., Toita, T., Takeshima, N. and Takizawa, K.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Electronic address: kenji.umayahara@jfcrr.or.jp. Department of Gynecology, Shizuoka Cancer Center, Shizuoka, Japan. Department of Radiation Oncology, Gunma University Hospital, Gunma, Japan. Department of Obstetrics and Gynecology, Yokohama City University Hospital, Yokohama, Japan. Department of Obstetrics and Gynecology, Hiroshima University Hospital, Hiroshima, Japan. Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University Hospital, Mie, Japan. Department of Obstetrics and Gynecology, Ryukyus University Hospital, Okinawa, Japan. Research Center for Charged Particle Therapy, National Institute of Radiological Sciences, Chiba, Japan. Department of Clinical Medicine (Biostatistics & Pharmaceutical Medicine), School of Pharmacy, Kitasato University, Tokyo, Japan. Department of Radiology, Ryukyus University Hospital, Okinawa, Japan. Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Phase II study of concurrent chemoradiotherapy with weekly cisplatin and paclitaxel in patients with locally advanced uterine cervical cancer: The JACCRO GY-01 trial.	Gynecol. Oncol., 140 (2): 253-8, 2016
15	Koyama, M., Koizumi, M., Umayahara, K., Takeshima, N. and Takahashi, S.	From the Departments of *Nuclear Medicine, Gynecological Oncology, and double daggerComprehensive Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of JFCR, Tokyo, Japan.	Radiation-induced osteosarcoma might mimic metastatic bone lesions: A case with bone scan and FDG PET/CT imaging.	Clin. Nucl. Med., 40 (5): 427-9, 2015
16	Saito, Y., Nagae, G., Motoi, N., Miyauchi, E., Ninomiya, H., Uehara, H., Mun, M., Okumura, S., Ohyanagi, F., Nishio, M., Satoh, Y., Aburatani, H. and Ishikawa, Y.	Division of Pathology, The Cancer Institute, Department of Pathology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Thoracic Surgery, Kitasato University School of Medicine, Sagamihara, Kanagawa, Japan. Genome Science Division, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo, Tokyo, Japan. Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Thoracic Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Prognostic significance of CpG island methylator phenotype in surgically resected small cell lung carcinoma.	Cancer Sci., 107 (3): 320-5, 2016

17	Horiike, A., Takeuchi, K., Uenami, T., Kawano, Y., Tanioto, A., Kaburaki, K., Tambo, Y., Kudo, K., Yanagitani, N., Ohyanagi, F., Motoi, N., Ishikawa, Y., Horai, T. and Nishio, M.	1Department of Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto- ward, Tokyo 135-8550, Japan. 2Pathology Project for Molecular Targets, Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ward, Tokyo 135-8550, Japan. 3Division of Pathology, Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, 3- 8-31 Ariake, Koto-ward, Tokyo 135-8550, Japan. 4Department of Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto- ward, Tokyo 135-8550, Japan. Electronic address: mnishio@jfcrr.or.jp.	Sorafenib treatment for patients with RET fusion-positive non-small cell lung cancer.	Lung Cancer, 93: 43-46, 2016
18	Nishio, M., Horiike, A., Murakami, H., Yamamoto, N., Kaneda, H., Nakagawa, K., Horinouchi, H., Nagashima, M., Sekiguchi, M. and Tamura, T.	Department of Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo Japan.	Phase I study of the HER3-targeted antibody patritumab (U3-1287) combined with erlotinib in Japanese patients with non-small cell lung cancer.	Lung Cancer, 88 (3): 275-81, 2015
19	Akiyoshi, T., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Unno, T., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y. and Ueno, M.	Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan, takashi.akiyoshi@jfcrr.or.jp.	Indications for lateral pelvic lymph node dissection based on magnetic resonance imaging before and after preoperative chemoradiotherapy in patients with advanced low-rectal cancer.	Ann. Surg. Oncol., 22 (Suppl 3): 614- 20, 2015
20	Akiyoshi, T., Nagasaki, T. and Ueno, M.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Gastroenterological Center, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo, Japan, takashi.akiyoshi@jfcrr.or.jp.	Laparoscopic total pelvic exenteration for locally recurrent rectal cancer.	Ann. Surg. Oncol., 22 (12): 3896, 2015
21	Honda, M., Wakita, T., Onishi, Y., Nunobe, S., Miura, A., Nishigori, T., Kusanagi, H., Yamamoto, T., Boddy, A. and Fukuhara, S.	Development and validation of a disease-specific instrument to measure diet-targeted quality of life for postoperative patients with esophagogastric cancer.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Gastroenterological Center, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan, michitaka.honda@jfcrr.or.jp.	Ann. Surg. Oncol., 22 (Suppl 3): 848- 854, 2015

22	Ida, S., Watanabe, M., Yoshida, N., Baba, Y., Umezaki, N., Harada, K., Karashima, R., Imamura, Y., Iwagami, S. and Baba, H.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan.	Sarcopenia is a predictor of postoperative respiratory complications in patients with esophageal cancer.	Ann. Surg. Oncol., 22 (13): 4432-7, 2015
23	Kosuga, T., Hiki, N., Nunobe, S., Ohashi, M., Kubota, T., Kamiya, S., Sano, T. and Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-Ku, Tokyo, Japan.	Does the single-stapling technique for circular-stapled esophagojejunostomy reduce anastomotic complications after laparoscopic total gastrectomy?	Ann. Surg. Oncol., 22 (11): 3603-12, 2015
24	Watanabe, M., Mine, S., Nishida, K., Yamada, K., Shigaki, H., Matsumoto, A. and Sano, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan, masayuki.watanabe@jfc.or.jp.	Salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy for patients with esophageal squamous cell carcinoma: Who really benefits from this high-risk surgery?	Ann. Surg. Oncol., 22 (13): 4438-44, 2015
25	Osumi, H., Shinozaki, E., Suenaga, M., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Matsusaka, S., Chin, K., Yamamoto, N. and Mizunuma, N.	Department of Gastroenterology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. ejj.shinozaki@jfc.or.jp. Medical Department of Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Does anti-p53 antibody status predict for clinical outcomes in metastatic colorectal cancer patients treated with floropyrimidine, oxaliplatin, plus bevacizumab as first-line chemotherapy?	BMC Cancer, 15 (1): 760, 2015
26	Araki, K., Ishida, N., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Ito, Y. and Ohno, S.	a Breast Medical Oncology , The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research , 3-8-1 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550 , Japan. b Breast Oncology Center , The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research , Tokyo , Japan. c Division of Pathology , The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research , Tokyo , Japan. d Division of Pathology , The Cancer Institute of the Japanese Foundation for Cancer Research , Tokyo , Japan. e Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo , Japan. f Breast Surgical Oncology , The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research , Tokyo , Japan.	Efficacy of fulvestrant 500 mg in Japanese postmenopausal advanced/recurrent breast cancer patients and factors associated with prolonged time-to-treatment failure.	Expert Opin. Pharmacother., 16 (17): 2561-8, 2015



27	Irino, T., Hiki, N., Ohashi, M., Nunobe, S., Sano, T. and Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, 3-8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan, irino@muf.biglobe.ne.jp.	The hit and away technique: optimal usage of the ultrasonic scalpel in laparoscopic gastrectomy.	Surg. Endosc., 30 (1): 245-50, 2016
28	Matsuura, Y., Mun, M., Nakagawa, K. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Electronic address: mingyon.mun@jfc.or.jp.	Efficacy and feasibility of a novel and noninvasive computed tomography-guided marking technique for peripheral pulmonary nodules.	J. Thorac. Cardiovasc. Surg., 149 (4): 1208-9, 2015
29	Mun, M., Matsuura, Y. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Main objectives of preoperative marking technique for hardly palpable lung nodules.	J. Thorac. Cardiovasc. Surg., 150 (5): 1382, 2015
30	Gorai, A., Sakao, Y., Kuroda, H., Uehara, H., Mun, M., Ishikawa, Y., Nakagawa, K., Masuda, M. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, Japanese Foundation for Cancer Research, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Thoracic Surgical Oncology, Japanese Foundation for Cancer Research, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan Department of Thoracic Surgery, Aichi Cancer Center Hospital, Aichi, Japan ysakao@aichi-cc.jp. Department of Thoracic Surgical Oncology, Japanese Foundation for Cancer Research, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan Department of Thoracic Surgery, Aichi Cancer Center Hospital, Aichi, Japan. Department of Pathology, Japanese Foundation for Cancer Research, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Yokohama City University School of Medicine, Yokohama, Japan.	The clinicopathological features associated with skip N2 metastases in patients with clinical stage IA non-small-cell lung cancer.	Eur. J. Cardiothorac. Surg., 47 (4): 653-8, 2015
31	Oya, S., Mine, S., Watanabe, M. and Yamada, K.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan Department of Gastrointestinal Surgery, University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan shinji.mine@jfc.or.jp mineshin@rc4.so-net.ne.jp. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan.	Oesophageal cancer with an aberrant right subclavian artery accompanied by a thoracic duct anomaly.	Eur. J. Cardiothorac. Surg., 48 (3): e55-7, 2015

32	Araki, K., Fukada, I., Horii, R., Takahashi, S., Akiyama, F., Iwase, T. and Ito, Y.	Breast Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan; Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Electronic address: kazuhiro.araki@jfc.or.jp. Breast Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan; Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Division of Pathology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan; Division of Pathology, The Cancer Institute of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Breast Oncology Center, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan; Breast Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Trastuzumab rechallenge after lapatinib- and trastuzumab-resistant disease progression in HER2-positive breast cancer.	Clin. Breast Cancer, 15 (6): 432-9, 2015
33	Fukada, I., Araki, K., Minatsuki, S., Fujino, T., Hatano, M., Numakura, S., Abe, H., Ushiku, T., Iwase, T. and Ito, Y.	Department of Breast Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Electronic address: ippei.fukada@jfc.or.jp. Department of Breast Medical Oncology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Cardiovascular Medicine, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan. Department of Pathology, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan. Department of Breast Surgery, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Imatinib alleviated pulmonary hypertension caused by pulmonary tumor thrombotic microangiopathy in a patient with metastatic breast cancer.	Clin. Breast Cancer, 15 (2): e167-170, 2015
34	Kuroda, H., Sakao, Y., Mun, M., Uehara, H., Nakao, M., Matsuura, Y., Mizuno, T., Sakakura, N., Motoi, N., Ishikawa, Y., Yatabe, Y., Nakagawa, K. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, Japanese Foundation for Cancer Research, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Thoracic Surgery, Aichi Cancer Center Hospital, Nagoya, Japan. Department of Pathology, Japanese Foundation for Cancer Research, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Pathology and Molecular Diagnosis, Aichi Cancer Center Hospital, Nagoya, Japan.	Lymph node metastases and prognosis in left upper division non-small cell lung cancers: The impact of interlobar lymph node metastasis.	PLoS One, 10 (8): e0134674, 2015

35	Kitazono, S., Fujiwara, Y., Tsuta, K., Utsumi, H., Kanda, S., Horinouchi, H., Nokihara, H., Yamamoto, N., Sasada, S., Watanabe, S., Asamura, H., Tamura, T. and Ohe, Y.	Department of Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.; Department of Thoracic Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan Department of Thoracic Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan; Department of Experimental Therapeutics, Exploratory Oncology Research and Clinical Trial Center, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan. Electronic address: yutakafu@ncc.go.jp. Department of Pathology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan. Department of Thoracic Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan. Department of Thoracic Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan; Department of Experimental Therapeutics, Exploratory Oncology Research and Clinical Trial Center, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan. Department of Endoscopy, Respiratory Endoscopy Division, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan. Department of Thoracic Surgery, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan.	Reliability of small biopsy samples compared with resected specimens for the determination of programmed death–ligand 1 expression in non–small–cell lung cancer.	Clin. Lung Cancer, 16 (5): 385–90, 2015
36	Nishio, M., Goto, K., Chikamori, K., Hida, T., Katakami, N., Maemondo, M., Ohishi, N. and Tamura, T.	The Cancer Institute Hospital of JFCR, Tokyo, Japan. Electronic address: mnishio@jfc.or.jp. National Cancer Center Hospital East, Chiba, Japan. National Hospital Organization Yamaguchi–Ube Medical Center, Yamaguchi, Japan. Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan. Institute of Biomedical Research and Innovation, Hyogo, Japan. Miyagi Cancer Center, Miyagi, Japan. Chugai Pharmaceutical Co Ltd, Tokyo, Japan. National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan.	Analysis of epidermal growth factor receptor mutations in serum among Japanese patients treated with first–line erlotinib for advanced non–small–cell lung cancer.	Clin. Lung Cancer, 17 (1): 24–29, 2016
37	Nakano, K., Sato, Y., Toshiyasu, T., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Sasaki, T., Shimbashi, W., Fukushima, H., Yonekawa, H., Mitani, H., Kawabata, K. and Takahashi, S.	Department of Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135–8550, Japan. Department of Radiation Oncology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135–8550, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135–8550, Japan. Department of Head and Neck Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135–8550, Japan.	Predictive factors of head and neck squamous cell carcinoma patient tolerance to high–dose cisplatin in concurrent chemoradiotherapy.	Mol. Clin. Oncol., 4 (2): 303–309, 2016
38	Osumi, H., Matsusaka, S., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Shinozaki, E. and Mizunuma, N.	Department of Gastroenterology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135–8550, Japan.	Angiotensin II type–1 receptor blockers enhance the effects of bevacizumab–based chemotherapy in metastatic colorectal cancer patients.	Mol. Clin. Oncol., 3 (6): 1295–1300, 2015

39	Osumi, H., Shinozaki, E., Osako, M., Kawazoe, Y., Oba, M., Misaka, T., Goto, T., Kamo, H., Suenaga, M., Kumekawa, Y., Ogura, M., Ozaka, M., Matsusaka, S., Chin, K., Hatake, K. and Mizunuma, N.	Department of Gastroenterology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Kagoshima Medical Association Hospital, Kagoshima, Kagoshima, Japan. Department of Medical Informatics and Economics, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Tokyo, Japan. Division of Hepatobiliary and Pancreatic Surgery, Department of Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterology, Kirishima Medical Center, Kirishima, Kagoshima, Japan. Department of Surgery, Koga General Hospital, Miyazaki, Japan. Department of Medical Oncology and Hematology, New Drug Development Center, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Cetuximab treatment for metastatic colorectal cancer with KRAS p.G13D mutations improves progression-free survival.	Mol. Clin. Oncol., 3 (5): 1053-1057, 2015
40	Kusano, Y., Nishimura, N., Yokoyama, M., Terui, Y. and Hatake, K.	Department of Hematology and Oncology, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ward, Tokyo, 135-8550, Japan. yoshiharu.kusano@jfc.or.jp. Department of Hematology and Oncology, The Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto-ward, Tokyo, 135-8550, Japan.	Gastric involvement, a rare site for extramedullary myeloma.	Ann. Hematol., 95 (4): 663-4, 2016
41	Mine, S., Kurokawa, Y., Takeuchi, H., Kishi, K., Ito, Y., Ohi, M., Matsuda, T., Hamakawa, T., Hasegawa, S., Yoshikawa, T. and Hiki, N.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital Ariake, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan. Department of Surgery, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases, Osaka, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Aichi Cancer Center Hospital, Nagoya, Japan. Department of Innovative Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan. Department of Gastrointestinal Surgery, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan. Department of Gastrointestinal Surgery, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan. Electronic address: yoshikawat@kccch.jp. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital Ariake, Tokyo, Japan. Electronic address: naoki.hiki@jfc.or.jp.	Distribution of involved abdominal lymph nodes is correlated with the distance from the esophagogastric junction to the distal end of the tumor in Siewert type II tumors.	Eur. J. Surg. Oncol., 41 (10): 1348-53, 2015
42	Matsuyama, M., Ishii, H., Furuse, J., Ohkawa, S., Maguchi, H., Mizuno, N., Yamaguchi, T., Ioka, T., Ajiki, T., Ikeda, M., Hakamada, K., Yamamoto, M., Yamaue, H., Eguchi, K., Ichikawa, W., Miyazaki, M., Ohashi, Y. and Sasaki, Y.	Gastroenterological Medicine, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan, mahsanmahsan2000@yahoo.co.jp.	Phase II trial of combination therapy of gemcitabine plus anti-angiogenic vaccination of elpamotide in patients with advanced or recurrent biliary tract cancer.	Invest. New Drugs, 33 (2): 490-5, 2015

43	Nishio, M., Horiike, A., Nokihara, H., Horinouchi, H., Nakamichi, S., Wakui, H., Ohyanagi, F., Kudo, K., Yanagitani, N., Takahashi, S., Kuboki, Y., Yamamoto, N., Yamada, Y., Abe, M., Tahata, T. and Tamura, T.	Department of Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-10-6 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan, mnishio@jfc.or.jp.	Phase I study of the anti-MET antibody onartuzumab in patients with solid tumors and MET-positive lung cancer.	Invest. New Drugs, 33 (3): 632-640, 2015
44	Suenaga, M., Mizunuma, N., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Ozaka, M., Ogura, M. and Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Phase II study of reintroduction of oxaliplatin for advanced colorectal cancer in patients previously treated with oxaliplatin and irinotecan: RE-OPEN study.	Drug Des. Devel. Ther., 9: 3099- 108, 2015
45	Nakayama, I., Suenaga, M., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Ozaka, M., Takahari, D., Shinozaki, E., Chin, K., Ueno, M., Mizunuma, N. and Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135- 8550, Japan.	Safety, tolerability, and efficacy of oxaliplatin-based adjuvant chemotherapy after curative resection of hepatic or extrahepatic metastases of Stage IV colorectal cancer.	Cancer Chemother. Pharmacol., 76 (1): 133-9, 2015
46	Ogiya, A., Iwase, T., Kitagawa, D., Nakashima, E., Sakai, T., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H., Makita, M., Horii, R. and Akiyama, F.	Department of Surgical Oncology, Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Electronic address: akiko.ogiya@jfc.or.jp. Department of Surgical Oncology, Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Division of Pathology, Cancer Institute of the Japanese Foundation for Cancer Research, 3- 8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135-8550, Japan.	Non-sentinel lymph node analysis with one-step nucleic acid amplification in breast cancer patients.	Breast, 24 (4): 476-80, 2015

47	Fukuoka, O., Sugitani, I., Ebina, A., Toda, K., Kawabata, K. and Yamada, K.	Division of Head and Neck, Cancer Institute Hospital of JFCR, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. o- fukuoka@royal.ocn.ne.jp. Division of Head and Neck, Cancer Institute Hospital of JFCR, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. isugitani@nms.ac.jp. Department of Endocrine Surgery, Nippon Medical School, 1-1-5 Sendagi, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8603, Japan. isugitani@nms.ac.jp. Division of Head and Neck, Cancer Institute Hospital of JFCR, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Ultrasonography, Cancer Institute Hospital of JFCR, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Natural history of asymptomatic papillary thyroid microcarcinoma: Time-dependent changes in calcification and vascularity during active surveillance.	World J. Surg., 40 (3): 529-37, 2016
48	Matsumoto, A., Watanabe, M., Shigaki, H., Nishida, K., Mine, S., Sano, T. and Yanaga, K.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. masayuki.watanabe@jfc.or.jp. Department of Surgery, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan.	Efficacy of staged treatment strategy for patients with synchronous double cancers of the esophagus and head and neck: A retrospective study.	World J. Surg., 40 (2): 388-394, 2016
49	Mine, S., Nunobe, S. and Watanabe, M.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, 3- 8-31, Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan, shinji.mine@jfc.or.jp.	A novel technique of anti-reflux esophagogastrostomy following left thoracoabdominal esophagectomy for carcinoma of the esophagogastric junction.	World J. Surg., 39 (9): 2359-61, 2015
50	Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Arai, M. and Ueno, M.	Gastroenterological Center, Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Gastroenterological Center, Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. takashi.akiyoshi@jfc.or.jp. Department of Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Prognostic impact of distribution of lymph node metastases in stage III colon cancer.	World J. Surg., 39 (12): 3008-15, 2015

51	<p>Matsusaka, S., Ishihara, S., Kondo, K., Horie, H., Uehara, K., Oguchi, M., Murofushi, K., Ueno, M., Mizunuma, N., Shimbo, T., Kato, D., Okuda, J., Hashiguchi, Y., Nakazawa, M., Sunami, E., Kawai, K., Yamashita, H., Okada, T., Ishikawa, Y., Nakajima, T. and Watanabe, T.</p>	<p>Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Koto-ku, Japan. Department of Surgical Oncology, University of Tokyo, Bunkyo-ku, Japan. Department of General &amp; Gastroenterological Surgery, Osaka Medical College, Takatsuki, Japan. Department of Surgery, School of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan. Division of Surgical Oncology, Department of Surgery, Nagoya University, Japan. Department of Radiation Oncology, Cancer Institute Hospital, Koto-ku, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Koto-ku, Japan. Department of Radiology, Osaka Medical College, Takatsuki, Japan. Department of Radiology, Teikyo University, Itabashi-ku, Japan. Department of Surgery, Teikyo University, Itabashi-ku, Japan. Department of Radiology, School of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan. Department of Radiology, University of Tokyo, Bunkyo-ku, Japan. Department of Radiology, Nagoya University, Japan. Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Japan. Japan Clinical Cancer Research Organization, Chuo-ku, Japan. Department of Surgical Oncology, University of Tokyo, Bunkyo-ku, Japan. Electronic address: toshwatanabe@yahoo.co.jp.</p>	<p>A multicenter phase II study of preoperative chemoradiotherapy with S-1 plus oxaliplatin for locally advanced rectal cancer (SHOGUN trial).</p>	<p>Radiother. Oncol., 116 (2): 209-13, 2015</p>
52	<p>Murofushi, K. N., Oguchi, M., Gosho, M., Kozuka, T. and Sakurai, H.</p>	<p>Department of Radiation Oncology, Cancer Institute Hospital, The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. keiko.nemoto@jfc.or.jp. Department of Radiation Oncology, University of Tsukuba, Ibaraki, Japan. keiko.nemoto@jfc.or.jp. Department of Radiation Oncology, Cancer Institute Hospital, The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. oguchi@jfc.or.jp. Department of Clinical Trial and Clinical Epidemiology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba, Ibaraki Prefecture, Japan. mgosho@md.tsukuba.ac.jp. Department of Radiation Oncology, Cancer Institute Hospital, The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. takuyo.kozuka@jfc.or.jp. Department of Radiation Oncology, University of Tsukuba, Ibaraki, Japan. hsakurai@pmrc.tsukuba.ac.jp.</p>	<p>Radiation-induced bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) syndrome in breast cancer patients is associated with age.</p>	<p>Radiat. Oncol., 10 (1): 103, 2015</p>
53	<p>Iwase, H., Takada, T., Iitsuka, C., Nomura, H., Abe, A., Taniguchi, T. and Takizawa, K.</p>	<p>Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. haiwase@med.kitasato-u.ac.jp. Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.</p>	<p>Clinical significance of systematic retroperitoneal lymphadenectomy during interval debulking surgery in advanced ovarian cancer patients.</p>	<p>J. Gynecol. Oncol., 26 (4): 303-310, 2015</p>
54	<p>Chino, A., Yamamoto, N., Kato, Y., Morishige, K., Ishikawa, H., Kishihara, T., Fujisaki, J., Ishikawa, Y., Tamegai, Y. and Igarashi, M.</p>	<p>Department Digestive Endoscopy, The Cancer Institution Hospital, Japanese Foundation of Cancer Research, Tokyo, Japan. akiko.chino@jfc.or.jp. Division of Pathology, The Cancer Institute of Japanese Foundation of Cancer Research, Tokyo, Japan. Department Digestive Endoscopy, The Cancer Institution Hospital, Japanese Foundation of Cancer Research, Tokyo, Japan.</p>	<p>The frequency of early colorectal cancer derived from sessile serrated adenoma/polyps among 1858 serrated polyps from a single institution.</p>	<p>Int. J. Colorectal Dis., 31 (2): 343-9, 2016</p>

55	Fujibuchi, T., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T. and Hayakawa, K.	Department of Orthopaedic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto, Tokyo, Japan. Electronic address: buchi@m.ehime- u.ac.jp. Department of Orthopaedic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto, Tokyo, Japan.	New endoprosthesis suspension method with polypropylene monofilament knitted mesh after resection of bone tumors in proximal humerus.	J. Shoulder Elbow Surg., 24 (6): 882- 888, 2015
56	Akiyoshi, T., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y. and Ueno, M.	Gastroenterological Center, Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Laparoscopic salvage lateral pelvic lymph node dissection for locally recurrent rectal cancer.	Colorectal Dis., 17 (10): O213-6, 2015
57	Osumi, H., Matsusaka, S., Suenaga, M., Shinozaki, E. and Mizunuma, N.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Associations between deepness of response and clinical outcomes among Japanese patients with metastatic colorectal cancer treated with second-line FOLFIRI plus cetuximab.	Onco Targets Ther., 8: 2005-13, 2015
58	Sato, Y., Matsusaka, S., Suenaga, M., Shinozaki, E. and Mizunuma, N.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Cetuximab could be more effective without prior bevacizumab treatment in metastatic colorectal cancer patients.	Onco Targets Ther., 8: 3329-36, 2015
59	Suenaga, M., Fujimoto, Y., Matsusaka, S., Shinozaki, E., Akiyoshi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Oya, M., Ueno, M., Mizunuma, N. and Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Perioperative FOLFOX4 plus bevacizumab for initially unresectable advanced colorectal cancer (NAVIGATE-CRC-01).	Onco Targets Ther., 8: 1111-8, 2015
60	Nomura, H., Sugiyama, Y., Matoda, M., Omatsu, K., Kato, K. and Takeshima, N.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, Ariake 3-8-31, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan, hidetaka.nomura@jfc.or.jp.	Successful pregnancy and full-term delivery after atypical polypoid adenomyoma of the uterus and recurrent cervical intraepithelial neoplasia.	Int. Cancer Conf. J., 4 (3): 176-180, 2015
61	Yokokawa, T., Kawakami, K., Mae, Y., Sugita, K., Watanabe, H., Suzuki, K., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T. and Hama, T.	Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan takashi.yokokawa@jfc.or.jp. Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Risk factors exacerbating hand-foot skin reaction induced by capecitabine plus oxaliplatin with or without bevacizumab therapy.	Ann. Pharmacother., 49 (10): 1120-4, 2015



62	Miyagi, M., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ishiyama, A., Yamamoto, Y., Tsuchida, T., Fujisaki, J. and Igarashi, M.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Precordial skin burns after endoscopic submucosal dissection for gastric tube cancer.	Dig. Endosc., 27 (7): 742-6, 2015
63	Yamamoto, Y., Fujisaki, J., Omae, M., Hirasawa, T. and Igarashi, M.	Division of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Helicobacter pylori negative gastric cancer: characteristics and endoscopic findings.	Dig. Endosc., 27 (5): 551-61, 2015
64	Kamiyama, R., Mitani, H., Yonekawa, H., Fukushima, H., Sasaki, T., Shimbashi, W., Seto, A., Koizumi, Y., Ebina, A. and Kawabata, K.	Department of Head and Neck Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan ryosuke.kamiyama@jfc.or.jp. Department of Head and Neck Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	A clinical study of pharyngolaryngectomy with total esophagectomy: Postoperative complications, countermeasures, and prognoses.	Otolaryngol. Head Neck Surg., 153 (3): 392-9, 2015
65	Chino, A., Nagayama, S., Ishikawa, H., Morishige, K., Kishihara, T., Arai, M., Sugiura, Y., Motoi, N., Yamamoto, N., Tamegai, Y. and Igarashi, M.	Digestive of Gastroenterology Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo akiko.chino@jfc.or.jp. Digestive of Surgery Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Digestive of Gastroenterology Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Clinical Genetic Oncology Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Pathology Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Cancer emerging from the recurrence of sessile serrated adenoma/polyp resected endoscopically 5 years ago.	Jpn. J. Clin. Oncol, 46 (1): 89-85, 2016
66	Hatake, K., Doi, T., Uetake, H., Takahashi, Y., Ishihara, Y. and Shirao, K.	Bevacizumab Appropriate Use Committee Department of Medical Oncology and Hematology, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo khatake@jfc.or.jp. Bevacizumab Appropriate Use Committee Department of Gastroenterology, Gastrointestinal Oncology Division, National Cancer Center Hospital East, Chiba. Bevacizumab Appropriate Use Committee Department of Surgical Specialties, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo. Drug Safety Division, Chugai Pharmaceutical Company, Tokyo. Bevacizumab Appropriate Use Committee Department of Medical Oncology and Hematology, Faculty of Medicine, Oita University, Oita, Japan.	Bevacizumab safety in Japanese patients with colorectal cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol, 46 (3): 234-40, 2016
67	Nakano, K., Motoi, N., Inagaki, L., Tomomatsu, J., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Shimoji, T., Matsumoto, S. and Takahashi, S.	Department of Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Division of Pathology, The Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Department of Orthopedic Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Medical Oncology, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo s.takahashi- chemotherapy@jfc.or.jp.	Differences in the responses and prognoses of pazopanib to soft tissue sarcomas by their histological eligibility for the PALETTE study.	Jpn. J. Clin. Oncol, 45 (5): 449-55, 2015

68	Nomura, S., Fujimoto, Y., Yamamoto, N., Sato, Y., Ashihara, Y., Kita, M., Yamaguchi, J., Ishikawa, Y., Ueno, M. and Arai, M.	Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo Department of Clinical Research, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Tokyo. Division of Pathology, Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo marai@jfcrr.or.jp.	A case of early onset rectal cancer of Lynch syndrome with a novel deleterious PMS2 mutation.	Jpn. J. Clin. Oncol, 45 (10): 987-92, 2015
69	Osumi, H., Ozaka, M., Ishii, H. and Sasahira, N.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan masato.ozaka@jfcrr.or.jp.	Severe ischemic colitis after treatment of bile-duct cancer using gemcitabine and cisplatin.	Jpn. J. Clin. Oncol, 45 (4): 402-3, 2015
70	Samejima, J., Nakao, M., Matsuura, Y., Uehara, H., Mun, M., Nakagawa, K., Motoi, N., Masuda, M., Ishikawa, Y. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo Department of Surgery, Yokohama City University School of Medicine, Kanagawa. Department of Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo masayuki.nakao@jfcrr.or.jp. Department of Thoracic Surgical Oncology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Division of Pathology, The Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Surgery, Yokohama City University School of Medicine, Kanagawa.	Prognostic impact of bulky swollen lymph nodes in cN1 non-small cell lung cancer patients.	Jpn. J. Clin. Oncol, 45 (11): 1050-4, 2015
71	Yamaguchi, J., Sato, Y., Kita, M., Nomura, S., Yamamoto, N., Kato, Y., Ishikawa, Y. and Arai, M.	Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo Department of Clinical Research, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo. Division of Pathology, Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo marai@jfcrr.or.jp.	A novel deletion in the splice donor site of MLH1 exon 6 in a Japanese colon cancer patient with Lynch syndrome.	Jpn. J. Clin. Oncol, 45 (10): 993-7, 2015
72	Nomura, H., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K. and Takeshima, N.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Clinicopathologic features and treatment outcomes of primary extramammary paget disease of the vulva.	J. Low. Genit. Tract Dis., 19 (2): 145-8, 2015

73	Nomura, H., Maeda, T., Usami, T., Abe, A., Yamamoto, A., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K., Umayahara, K., Utsugi, K., Takeshima, N. and Sawaizumi, M.	Departments of *Gynecology and daggerPlastic and Reconstructive Surgery, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Vulvar reconstruction following surgery for vulvar cancer using a stepladder V-Y advancement medial thigh flap.	Int. J. Gynecol. Cancer, 25 (8): 1484-7, 2015
74	Yuasa, T.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Tokyo, Japan. takeshi.yuasa@jfc.or.jp.	Editorial Comment to p21-activated kinase 1 predicts recurrence and survival in patients with non-metastatic clear cell renal cell carcinoma.	Int. J. Urol., 22 (5): 453-4, 2015
75	Sugita, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., Mae, Y., Toya, W., Hagino, A., Suzuki, K., Suenaga, M., Mizunuma, N., Yamaguchi, T. and Hama, T.	Department of Pharmacy, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo, Japan kazuo.sugita@jfc.or.jp. Department of Pharmacy, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo, Japan.	Investigation of regorafenib-induced hypothyroidism in patients with metastatic colorectal cancer.	Anticancer Res., 35 (7): 4059-62, 2015
76	Yamasaki, M., Yuasa, T., Yamamoto, S., Hayashi, T., Ogawa, M., Sakura, M., Masuda, H., Fukui, I. and Yonese, J.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Tokyo, Japan.	Efficacy and safety profile of enzalutamide for Japanese patients with castration- resistant prostate cancer.	Anticancer Res., 36 (1): 361-5, 2016
77	Hayashi, T., Yuasa, T., Uehara, S., Inoue, Y., Yamamoto, S., Masuda, H., Fujii, Y., Fukui, I. and Yonese, J.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Ariake, 135- 8550, Japan, s9078@nms.ac.jp.	Clinical outcome of urachal cancer in Japanese patients.	Clinical outcome of urachal cancer in Japanese patients.
78	Urakami, S., Yuasa, T., Yamamoto, S., Sakura, M., Tanaka, H., Hayashi, T., Uehara, S., Inoue, Y., Fujii, Y., Masuda, H., Fukui, I. and Yonese, J.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation of Cancer Research, Tokyo, 105-8470, Japan, shinurakami@ybb.ne.jp.	Clinical response to induction chemotherapy predicts improved survival outcome in urothelial carcinoma with clinical lymph nodal metastasis treated by consolidative surgery.	Int. J. Clin. Oncol., 20 (6): 1171-1178, 2015

79	Yuasa, T., Inoshita, N., Tanaka, H., Urakami, S., Yamamoto, S., Fujii, Y., Masuda, H., Fukui, I., Ishikawa, Y. and Yonese, J.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Ariake, Tokyo, 135- 8550, Japan, takeshi.yuasa@jfcf.or.jp.	Surveillance policy for Japanese patients with stage I testicular germ cell cancer in the multi-detector computed tomography era.	Int. J. Clin. Oncol., 20 (6): 1198-202, 2015
80	Sakumi, A., Miyagawa, R., Tamari, Y., Nawa, K., Sakura, O. and Nakagawa, K.	Department of Radiation Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ward, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Pathology, The University of Tokyo Hospital, 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8655, Japan. Department of Radiology, The University of Tokyo Hospital, 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8655, Japan. Interfaculty Initiative in Information Studies, The University of Tokyo, 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8655, Japan. Department of Radiology, The University of Tokyo Hospital, 7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8655, Japan k-nak@ig7.so- net.ne.jp.	External effective radiation dose to workers in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant during the third year after the Great East Japan Earthquake.	J. Radiat. Res., 57 (2): 178-81, 2016
81	Tanaka, H., Horiike, A., Sakatani, T., Saito, R., Yanagitani, N., Kudo, K., Ohyanagi, F., Horai, T. and Nishio, M.	Department of Thoracic Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Plasma homocysteine levels and hematological toxicity in NSCLC patients after the first cycle of pemetrexed under folate supplementation.	Anticancer Drugs, 26 (5): 573-8, 2015
82	Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fujimoto, Y., Konishi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y. and Ueno, M.	Gastroenterological Center, Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Prognostic impact of neutrophil-to- lymphocyte ratio in patients with advanced low rectal cancer treated with preoperative chemoradiotherapy.	Dig. Surg., 32 (6): 496-503, 2015
83	Kawakami, K., Nakamoto, E., Yokokawa, T., Sugita, K., Mae, Y., Hagino, A., Suenaga, M., Mizunuma, N., Oniyama, S., Machida, Y., Yamaguchi, T. and Hama, T.	Department of Pharmacy, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Gastroenterology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Section for Practical Education, Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Tokyo, Japan.	Patients' self-reported adherence to capecitabine on XELOX treatment in metastatic colorectal cancer: findings from a retrospective cohort analysis.	Patient Prefer. Adherence., 9: 561-7, 2015

84	Kobayashi, K., Horii, R., Ito, Y., Miyagi, Y., Ohno, S., Iwase, T. and Akiyama, F.	Department of Breast Medical Oncology, Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Breast Surgical Oncology, Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Prognostic significance of histological therapeutic effect in preoperative chemotherapy for breast cancer.	Pathol. Int., 66 (1): 8–14, 2016
85	Nomura, H., Sugiyama, Y., Tanigawa, T., Matoda, M., Kanao, H., Kondo, E. and Takeshima, N.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, Ariake 3–8–31, Koto-ku, Tokyo, 135–8550, Japan, hidetaka.nomura@jfc.or.jp.	Long-term outcomes of fertility-sparing treatment of atypical polypoid adenomyoma with medroxyprogesterone acetate.	Arch. Gynecol. Obstet., 293 (1): 177–181, 2016
86	Tanigawa, T., Matoda, M., Yamamoto, A., Nomura, H., Okamoto, S., Sakamoto, K., Kondo, E., Omatsu, K., Kato, K. and Takeshima, N.	Department of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3–8–31 Ariake, Koutou-ku, Tokyo, 135–8550, Japan, t- terumi@nagasaki-u.ac.jp.	Clinical usefulness of the oral chemotherapy agent S-1 in heavily pre- treated patients with advanced or recurrent cervical cancer.	Arch. Gynecol. Obstet., 293 (3): 633–8, 2016
87	Koizumi, M., Miyaji, N., Murata, T., Motegi, K., Miwa, K., Koyama, M., Terauchi, T., Wagatsuma, K., Kawakami, K. and Richter, J.	Department of Nuclear Medicine, Cancer Institute Hospital, 3–8–31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135–8550, Japan. mitsuru@jfc.or.jp. Department of Nuclear Medicine, Cancer Institute Hospital, 3–8–31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135–8550, Japan. Research Team for Neuroimaging, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, 35–2 Sakae-cho, Itabashi-ku, Tokyo, 173–0015, Japan. Fujifilm RI Pharma, Co., Ltd, 2–14–1 Kyoubashi, Chuo-ku, Tokyo, 104–0031, Japan. EXINI Diagnostics AB, Ideon Science Park, Scheelevagen 27, 223 70, Lund, Sweden.	Evaluation of a revised version of computer-assisted diagnosis system, BONENAVI version 2.1.7, for bone scintigraphy in cancer patients.	Ann. Nucl. Med., 29 (8): 659–65, 2015
88	Makita, M., Akiyama, F., Gomi, N. and Iwase, T.	Department of Breast Surgical Oncology, Breast Center, Cancer Institute Hospital, 3– 8–31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135–8550, Japan, mmakita@jfc.or.jp.	Mammary ductoscopy and watchful follow- up substitute microdochectomy in patients with bloody nipple discharge.	Breast Cancer, 23 (2): 242–251, 2016

89	Ogiya, A., Kimura, K., Nakashima, E., Sakai, T., Miyagi, Y., Iijima, K., Morizono, H., Makita, M., Horii, R., Akiyama, F. and Iwase, T.	Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135- 8550, Japan, akiko.ogiya@jfc.or.jp.	Long-term prognoses and outcomes of axillary lymph node recurrence in 2,578 sentinel lymph node-negative patients for whom axillary lymph node dissection was omitted: results from one Japanese hospital.	Breast Cancer, 23 (2): 318-22, 2016
90	Ichikawa, J., Matsumoto, S., Shimoji, T., Ae, K., Tanizawa, T. and Gokita, T.	Department of Orthopaedic Surgery, Cancer Institute Hospital for Japanese Foundation for Cancer Research, Japan. Department of Orthopaedic Surgery, Cancer Institute Hospital for Japanese Foundation for Cancer Research, Japan. Electronic address: smatsumoto@jfc.or.jp.	A new technique using mesh for extensor reconstruction after proximal tibial resection.	Knee, 22 (6): 659- 63, 2015
91	Kinowaki, Y., Takazawa, Y., Yamamoto, N. and Ishikawa, Y.	Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135- 8550, Japan; Department of Comprehensive Pathology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, 1-5-45 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8510, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135- 8550, Japan. Electronic address: endpth2@tmd.ac.jp. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo 135- 8550, Japan.	Intraductal papillary mucinous neoplasm involving pancreaticobiliary maljunction and an aberrant pancreatic duct draining into the stomach: A case report and review of the literature.	Pathol. Res. Pract., 212 (2): 139-44, 2016
92	Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Fujimoto, Y., Konishi, T., Arai, M. and Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan.	Feasibility and safety of laparoscopic surgery for metachronous colorectal cancer.	Surg. Today, 45 (4): 434-8, 2015
93	Abe, A., Matoda, M., Okamoto, S., Kondo, E., Kato, K., Omatsu, K., Umayahara, K., Utsugi, K. and Takeshima, N.	Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. akiko06090111@yahoo.co.jp. Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. maki.matsumura@jfc.or.jp. Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. sanshiro.okamoto@jfc.or.jp. Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. eiji.kondo@jfc.or.jp. Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. kazuyoshi.kato@jfc.or.jp. Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. kohei.omatsu@jfc.or.jp. Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. kenji.umyayahara@jfc.or.jp. Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. kuniko.utsugi@jfc.or.jp. Departments of Gynecology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550, Japan. nobuhiro.takeshima@jfc.or.jp.	Resection of the vaginal vault for vaginal recurrence of cervical cancer after hysterectomy and brachytherapy.	World J. Surg. Oncol., 13: 137, 2015

94	Nakao, M., Hoshi, R., Ishikawa, Y., Matsuura, Y., Uehara, H., Mun, M., Nakagawa, K. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan masayuki.nakao@jfcrr.or.jp. Department of Cytology, Cancer Institute Hospital, The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, The Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Prognosis of non-small-cell lung cancer patients with positive pleural lavage cytology.	Interact. Cardiovasc. Thorac. Surg., 20 (6): 777-782, 2015
95	Fukuda, T., Horii, R., Gomi, N., Miyagi, Y., Takahashi, S., Ito, Y., Akiyama, F., Ohno, S. and Iwase, T.	Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-8550 Japan. Diagnostic Imaging Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Accuracy of magnetic resonance imaging for predicting pathological complete response of breast cancer after neoadjuvant chemotherapy: association with breast cancer subtype.	Springerplus, 5: 152, 2016
96	Fukuda, T., Tanabe, M., Kobayashi, K., Fukada, I., Takahashi, S., Iwase, T. and Ito, Y.	Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo Japan ; Department of Translational Oncology, St. Marianna University Graduate School of Medicine, Kawasaki, Kanagawa Japan. Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo Japan ; Department of Breast Oncology, Juntendo University School of Medicine, Bunkyo-ku, Tokyo Japan. Breast Oncology Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Koto-ku, Tokyo Japan.	Combination chemotherapy with mitomycin C and methotrexate is active against metastatic HER2-negative breast cancer even after treatment with anthracycline, taxane, capecitabine, and vinorelbine.	Springerplus, 4: 376, 2015
97	Makita, M., Sakai, T., Kataoka, A., Kitagawa, D., Ogiya, A., Morizono, H., Miyagi, Y., Iijima, K., Kobayashi, K., Kobayashi, T., Fukada, I., Araki, K., Takahashi, S., Ito, Y., Gomi, N., Oguchi, M., Kita, M., Arai, M., Akiyama, F. and Iwase, T.	Department of Breast Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake Koto-ku, Tokyo, 135-8550 Japan ; Department of Breast Surgery, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, 1-396 Kosugi-machi, Nakahara-ku, Kawasaki, Kanagawa 211-8533 Japan. Department of Breast Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake Koto-ku, Tokyo, 135-8550 Japan. Department of Breast Medical Oncology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Diagnostic Radiology Center, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Radiation Oncology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Clinical Genetic Oncology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan.	Decreased hormonal sensitivity after childbirth rather than the tumor size influences the prognosis of very young breast cancer patients.	Springerplus, 4: 365, 2015
98	Ogura, A., Akiyoshi, T., Takatsu, Y., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y. and Ueno, M.	Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, The Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Electronic address: takashi.akiyoshi@jfcrr.or.jp.	The significance of extended lymphadenectomy for colorectal cancer with isolated synchronous extraregional lymph node metastasis.	Asian J. Surg.: 10.1016/j.asjsur.2015.10.003, 2015

99	Shigematsu, Y., Matsuura, M., Nishimura, N., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y., Takeshima, N. and Hatake, K.	Division of Pathology, The Cancer Institute, Department of Pathology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Intravascular large B-cell lymphoma of bilateral ovaries and the uterus in an asymptomatic patient with a t(11;22)(q23;q11) constitutional translocation.	Internal Medicine: in press, 2016
100	Nakada, T., Okumura, S., Kuroda, H., Uehara, H., Mun, M., Takeuchi, K. and Nakagawa, K.	Department of Thoracic Surgical Oncology, Thoracic Center, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Imaging characteristics in ALK fusion- positive lung adenocarcinomas by using HRCT.	Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg., 21 (2): 102-108, 2015
101	Uehara, H., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Ishikawa, Y. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Prognostic significance of clinical/pathological stage IA non-small- cell lung cancer showing partially solid or solid tumours on radiological exam.	Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg., 21 (4): 338-344, 2015
102	Uehara, H., Nakao, M., Mun, M., Nakagawa, K., Nishio, M., Ishikawa, Y. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Significant prognostic factors for completely resected pN2 non-small cell lung cancer without neoadjuvant therapy.	Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg., 21 (4): 345-353, 2015
103	Yamada, K., Toda, K., Ebina, A., Motoi, N. and Sugitani, I.	Department of Ultrasound, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-Ku, Tokyo, 135-8550, Japan. kyamada@jcr.or.jp. Department of Head and Neck Surgery, Cancer Institute Hospital, 3-8-31 Ariake, Koto-Ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Pathology, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31 Ariake, Koto-Ku, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Endocrine Surgery, Nippon Medical School, 1-1-5 Sendagi, Bunkyo-Ku, Tokyo, 113-8603, Japan.	Ultrasonographic and non-enhanced CT features of acute transient thyroid swelling following fine-needle aspiration biopsy: report of four cases.	J. Med. Ultrason., 42 (3): 417-25, 2015
104	Ida, S., Watanabe, M. and Baba, H.	1Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo 135- 8550, Japan. 2Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto 860- 8556, Japan.	Chronic inflammation and gastrointestinal cancer.	J. Cancer Metastasis Treat., 1: 138-43, 2015
105	Kobayashi, H., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Motoi, N. and Matsumoto, S.	Department of Orthopedic Surgery, Cancer Institute Hospital, Ariake 3-8-31, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan; Department of Orthopedic Surgery, The University of Tokyo Hospital, Hongo 7-3-1, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8655, Japan. Department of Orthopedic Surgery, Cancer Institute Hospital, Ariake 3-8-31, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, Ariake 3-8-31, Koutou-ku, Tokyo 135-8550, Japan.	A clinicopathological analysis of soft tissue sarcoma with telangiectatic changes.	Sarcoma, 2015: 740571, 2015



106	Matsumoto, A., Watanabe, M., Shigaki, H., Okumura, Y., Nishida, K., Mine, S., Yamada, K., Yanaga, K. and Sano, T.	Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research Tokyo, Japan.	Intussusception causing postoperative intestinal obstruction following free jejunum transfer in adults: two case reports and review of the literature.	Surg. Case Rep., 1 (1): 28, 2015
107	Matsusaka, S., Kobunai, T., Yamamoto, N., Chin, K., Ogura, M., Tanaka, G., Matsuoka, K., Ishikawa, Y., Mizunuma, N. and Yamaguchi, T.	Department of Gastroenterology, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Translational Research Laboratory, Taiho Pharmaceutical Co., Ltd., Tokyo, Japan. Department of Pathology, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan. Applied Pharmacology Laboratory, Taiho Pharmaceutical Co., Ltd., Tokushima, Japan. Department of Gastroenterological Surgery, Cancer Institute Hospital of the Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Prognostic impact of KRAS mutant type and MET amplification in metastatic and recurrent gastric cancer patients treated with first-line S-1 plus cisplatin chemotherapy.	Genes Cancer, 7 (1-2): 27-35, 2016
108	Mori, S., Uehara, H., Motoi, N. and Okumura, S.	Department of Thoracic Surgical Oncology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, 3-8-31, Ariake, Koto, Tokyo, 135-8550, Japan. Department of Pathology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Pulmonary artery sarcoma presenting as an isolated lung mass.	Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg.: in press 10.1007/s11748- 015-0605-0, 2015
109	Shigematsu, Y., Araki, K., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ohno, S. and Itoh, Y.	Division of Pathology, The Cancer Institute, Department of Pathology, The Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Aggressive recurrence of early breast invasive ductal carcinoma with gastric metastasis during adjuvant hormonal therapy.	Case Rep. Clin. Pathol., 3 (1): 1-6, 2016
110	Takatsu, Y., Akiyoshi, T., Nagata, J., Nagasaki, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Fukunaga, Y. and Ueno, M.	Department of Gastroenterological Surgery, Gastroenterological Center, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Surgery for synchronous colorectal cancers with double colonic anastomoses: A comparison of laparoscopic and open approaches.	Asian J. Endosc. Surg., 8 (4): 429- 433, 2015
111	Uehara, S., Yuasa, T., Fujii, Y., Yano, A., Yamamoto, S., Masuda, H., Fukui, I. and Yonese, J.	Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan.	Prior administration of a non-steroidal anti-androgen failed to prevent the flare- up caused by a luteinizing hormone- releasing hormone agonist in a patient with metastatic prostate cancer.	BMC Res. Notes, 8: 335, 2015

112	Yamaguchi, R., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Gokita, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Kito, M., Ishii, H. and Motoi, N.	1Department of Orthopaedic Surgery, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan 2Ishii Orthopaedic Clinic, Tokyo, Japan 3Division of Pathology, Cancer Institute Hospital, Tokyo, Japan	Case Report: Asymptomatic Osteosarcoma.	Case Rep. Clin. Med., 4: 369-375, 2015
-----	---	--	--	--

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 医学系研究倫理審査委員会手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 利益相反の定義、利益相反の申告の対象者、申告事項、利益相反マネジメントの管理責任者及び利益相反委員会の設置、利益相反委員会の構成・業務・活動、利益相反マネジメントの実施手順、規定に違反した場合の罰則 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 5 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容 ヘルシンキ宣言、ICH-GCP、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針、利益相反、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各コース、プログラムに従い研修を進める。各コースプログラムのローテーションでは、選択したコースプログラムに関連する診療科部門を3ヶ月から最大12ヶ月の期間で研修を行う。研修にあたっては、各コースとも、教育責任者1名と指導医を複数名配置し、指導は学会専門医などの資格を有する者が中心となり、チーム全体での指導が受けられる体制をとっている。

また、各カンファレンスにも参加し、特にキャンサーボードでの検討に基づく集学的医療を実践する。加えて基礎的ながん研究を行うがん研究所も併設しており、専門の研究者との交流も行い知識を深めてもらう。

2 研修の実績

研修医の人数	139人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西尾 誠人	呼吸器内科	部長	27年	
藤崎 順子	消化器内科	部長	33年	
伊藤 良則	乳腺内科	部長	35年	
奥村 栄	呼吸器外科	部長	33年	
佐野 武	消化器外科	部長	36年	
岩瀬 拓士	乳腺外科	部長	35年	
竹島 信宏	婦人科	部長	33年	
川端 一嘉	頭頸科	部長	39年	
阿江 啓介	整形外科	部長	23年	
米瀬 淳二	泌尿器科	部長	30年	
畠 清彦	血液腫瘍科	部長	38年	
高橋 俊二	総合腫瘍科	部長	33年	
横田 美幸	麻酔科	部長	36年	
澤泉 雅之	形成外科	部長	30年	
原田 壮平	感染症科	部長	15年	
奈良林 至	緩和治療科	部長	31年	
服部 政治	がん疼痛治療科	部長	24年	
小口 正彦	放射線治療部	部長	33年	
松枝 清	画像診断部	部長	30年	
石川 雄一	病理部	部長	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 全国のリンパ浮腫治療に関わる医療者の育成（対象：看護師・理学療法士・作業療法士等）</li><li>・研修の期間・実施回数 4月および10月（各10日間）</li><li>・研修の参加人数 各回18名</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	山口 俊晴	
管理担当者氏名	各管理責任部署の長	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	院長室
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術室
		看護記録	I T 推進課
		検査所見記録	I T 推進課
		エックス線写真	I T 推進課
		紹介状	診療情報管理室
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事部
		高度の医療の提供の実績	総務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	人事部
		閲覧実績	各管理責任部署
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及び I T 推進課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策部	…ファイルに保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。
	第二条	院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部	…院内感染対策委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
	第三号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部	…院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。
	第四号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部	…各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管。
	第五号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	…医薬品安全管理責任者を配置。
	第六号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	…医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
	第七号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	…薬剤部にてファイル保管。
	第八号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	…医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。
	第九号	医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター	…医療機器安全管理責任者を配置。
	第十号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター	…医療機器の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	購買課	…自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	購買課	…購買課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課 …医療安全管理責任者を配置し、組織図で明示。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療クオリティマネジメントセンター …院内感染対策の専任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 …薬剤部にてファイル保管
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課 …インフォームドコンセント委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室 …診療録管理委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		医療安全管理部門の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部、院内感染対策部、クオリティインプループメント部、医療クオリティマネジメント部を統括している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに高難度新規医療技術管理部を設置。
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに未承認新規医薬品等管理部を設置。
		監査委員会の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター …平成28年8月10日付で監査委員会を設置し、9月8日に第1回開催予定。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療クオリティマネジメントセンター …医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター …医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室 …患者相談室でファイル保管。		



	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査コンプライアンス室	…監査コンプライアンス室でファイル保管。
	職員研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	山口 俊晴		
閲覧担当者氏名	診療情報管理室 松倉 知美		
閲覧の求めに応じる場所	患者相談窓口 及び相談室等		
閲覧の手続の概要 ・患者相談窓口にて閲覧申請の初期対応を実施。申請内容により各記録の担当者へ連絡、閲覧の承認を経た後、申請者へ連絡・閲覧を実施する。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>【指針の主な内容】</p> <p>第 1 医療安全管理に関する基本的考え方 第 2 医療安全管理委員会・組織に関する基本的事項 第 3 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 第 4 アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第 5 アクシデント等発生時の対応に関する基本方針 第 6 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 第 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第 8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>【設置の有無 ( 有・無 ) 】</p> <p>【開催状況：年 23 回】</p> <p>【活動の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・医療安全管理体制などの実態の把握及び関連資料の準備</li><li>・具体的な医療安全対策の審議及びその実現施策の策定</li><li>・医療安全教育・予防対策などに関する立案及びその実施</li><li>・医療安全基本マニュアルの作成</li><li>・医療訴訟に関する業務</li><li>・前各号の定めるもののほか医療安全に係わる必要な事項</li><li>・医療安全管理委員会規程の改訂</li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 12 回
<p>【研修の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・院内事故調査の時代に備えて</li><li>・有害事象患者への情報開示</li><li>・Professional autonomyとしての院内事故調査制度の推進と活用</li><li>・特定機能病院の新承認要件について</li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>【医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 ) 】</p> <p>【その他の改善のための方策の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当事者・発見者がオンラインシステムで I A レポートを報告する。</li><li>・各部署で RM を中心に事例の検討・RCA 分析を行う。</li><li>・RM 部会で報告をとりまとめ、評価・検討する。</li><li>・報告された事例について、医療安全管理者が各部署へ指導する。</li><li>・各部署および専任 RM 部会で立案した改善策案をもとに、医療安全管理委員会で改善策を検討・決定する。</li><li>・病院管理者連絡会議・部署 RM 連絡会などを通じて、事例と改善策を周知する</li></ul>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>院内感染対策に関する基本的考え方</li><li>院内感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項</li><li>院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li><li>感染症の発生状況に関する基本方針</li><li>院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>その他、院内感染対策推進のために必要な基本方針</li></ul></li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"><li>活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>院内感染対策マニュアルの作成および最新の科学的・公衆衛生学的情報を踏まえた定期的な改訂</li><li>院内感染対策の実施状況の報告と改善策の立案</li><li>院内の感染症発生状況のサーベイランス結果の報告と結果を踏まえた改善策の立案</li><li>アウトブレイクあるいは重要感染症発生時（疑い時を含む）の状況・対応報告と改善策の立案</li><li>院内感染に関する情報収集・共有および内外への情報発信の検討</li><li>職業感染予防策の実施状況の報告と改善策の立案</li><li>抗菌薬使用状況・多剤耐性菌等のサーベイランス情報の共有と改善策の立案</li><li>その他、院内感染およびその防止にかかわるすべての事項</li></ul></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 37 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>新入職員研修「感染症診療、感染管理について」（1回）</li><li>新規看護師採用者オリエンテーション「手指衛生とPPEの着脱、標準予防策 他」（1回）</li><li>中途採用者（新採用者）オリエンテーション「感染管理、標準予防策 他」（11回）</li><li>ボランティア研修「感染対策について」（1回）</li><li>病院全体研修「当院の感染対策の現状と課題について」（1回）</li><li>委託清掃スタッフ研修「病院清掃：感染対策の基本」（1回）</li><li>看護助手研修「環境整備と感染防止」（1回）</li><li>病院全体研修「患者と自分を守るための標準予防策」（1回）</li><li>リンクナース研修「針刺し防止対策 他」（9回）</li><li>研修医研修「かぜ患者の診かた 他」（8回）</li><li>ワークサポートチーム研修「清掃時の手指衛生 他」（2回）</li></ul></li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</li><li>その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>院内感染対策および感染症診療に関するコンサルテーション体制の整備</li><li>院内ラウンドを行い、感染対策に関する問題点の把握・分析、対策の立案、実施・評価</li><li>感染症発生状況および感染対策に関する情報提供（感染情報レポート・ICTニュースを作成し、院内ネットワーク掲示板に掲載）</li><li>院内感染対策マニュアルの整備</li><li>職業感染予防策の実施（ウイルス抗体価測定、ワクチン接種、針刺し・粘膜曝露対応）</li><li>手指衛生の指導と実施状況のモニタリング</li><li>院内感染対策実施のための院内の各部門・部署との連携</li></ul></li></ul>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 20 回
<p>・ 研修の主な内容 :</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・抗がん薬と麻薬の取扱い(入職時員研修)</li><li>・麻薬の管理とレジメン監査(6月:医薬品安全管理研修会)</li><li>・薬剤師の視点から見た転倒転落リスク(3月:医薬品安全管理研修会)</li><li>・注射薬投与に関する病棟新人スタッフ勉強会(3月~7月:病棟単位に各1回 計17回)</li></ul> <p>その他:病棟スタッフを対象とした病棟単位での病棟薬剤師による研修会(年1から2回程度)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 ( 有・無 )</p> <p>・ 業務の主な内容 :</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1.医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成と改訂<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的な見直しと改訂:H28.1.6 薬事法⇒薬機法、採用薬変更に伴う付表の改訂</li><li>・直近改訂:H28.9.6 医療法施行規則改正に伴う医薬品安全管理担当者の指名と責務の追記</li></ul></li><li>2.職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施<ul style="list-style-type: none"><li>・医薬品安全管理研修会の企画立案と実施(上記②のとおり)</li></ul></li><li>3.医薬品の業務手順書に基づく業務の実施確認<ul style="list-style-type: none"><li>・病棟担当者等による業務チェックリストによ月1回の確認</li></ul></li><li>4.医薬品の安全使用のための情報収集、伝達<ul style="list-style-type: none"><li>・PMDA メディナビ等での情報収集</li><li>・情報のレベル分けとそれに伴う情報発信<ul style="list-style-type: none"><li>LevelA:処方医、処方患者を特定した情報伝達</li><li>LevelB:診療科カンファランス等を通して担当薬剤師による直接伝達</li><li>LevelC:DI ニュース、院内 LAN による情報伝達</li></ul></li></ul></li><li>5.その他医薬品の安全確保を目的とした改善策の実施<ul style="list-style-type: none"><li>・麻薬、ハイリスク薬、病棟定数等の保管管理の相談</li><li>・抗がん薬レジメンの登録、変更の確認</li><li>・医療安全委員会、感染対策委員会、薬事審査委員会、化学療法委員会へ出席</li></ul></li></ol>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (  ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

・PMDA メディナビに登録、PMDA 医薬品医療機器情報提供ホームページにて、最新添付文書等の情報を確認している

・学会誌、業界紙の定期購読

・MR との面談時間の設定

・病棟担当薬剤師による処方確認

・新規抗がん薬の導入には、医師、看護師、薬剤師等による新薬導入チームを編成し、導入の問題点、チェック項目、同意説明文書等を事前に検討、作成し情報を共有して安全な導入を実施している。

・外来持参薬管理センターを立ち上げ(一部診療科のみ)術前中止薬を薬剤師が外来時に事前にチェック

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人工呼吸器の取り扱いについて</li><li>・ 血液浄化装置について</li><li>・ 除細動器について</li><li>・ 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いについて</li><li>・ リニアックについて</li><li>・ 診療用放射線照射装置について</li></ul></li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器に係る計画の策定 ( 有・無 )</li><li>・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 委託業者による定期点検及び当院臨床工学技士による自主点検</li><li>・ 補助循環装置</li><li>・ 人工呼吸器</li><li>・ 血液浄化装置</li><li>・ 除細動器</li><li>・ 診療用高エネルギー放射線発生装置</li><li>・ 診療用放射線照射装置</li></ul></li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 安全情報については、行政・PMDAからの情報を確認し、また製造販売業者からの通知、新聞記事などから収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ周知する。</li><li>・ 院内で起きたIA事例についてはイントラネットを活用し、医療安全通信に掲載して全体へ情報発信し、注意喚起を行っている。</li><li>・ 不具合が生じた医療機器に関しては、ただちにPMDAへ報告をし、改善を求める。</li></ul></li></ul>	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当副院長を、医療安全管理責任者として配置している。医療安全管理責任者は、医療安全管理部を含む医療クオリティマネジメントセンターのセンター長として医療安全管理部門を統括している。また、医療安全管理委員会の委員長として医療安全管理委員会を運営し、医療安全管理委員会において委員である医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者に活動状況を報告させている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有（5名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬剤部病棟担当薬剤師を「医薬品安全管理担当補助者」と位置づけ、月に 1 回程度、医薬品安全管理担当者と当該病棟の情報共有（収集・整理・周知）を図る体制を準備している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>10/1 付で医療安全管理部を含む医療クオリティマネジメントセンターに未承認新規医薬品等管理部を設置することを決定している。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="checkbox"/>有・無</p> <p>・薬剤部薬剤管理室長を「医薬品安全管理担当者」に指名することを決定し、9/6 付でマニュアル改訂を医療安全委員会で承認した。</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input checked="" type="checkbox"/>有・無</p> <p>・規程の主な内容：以前より医療安全マニュアルの項目「説明と同意」において、説明の実施に必要な具体的方法（診療側・患者側の同席者に関する原則等）に関する院内ルールを定めており、説明の実施に必要な方法を規定した文章は存在し、対応済である。規程として整えた形式にするための対応を今後行う予定である。</p>	



⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・活動の主な内容：</p> <p>診療録管理委員会において診療録等の管理に関する体制を検討・改善を実施。</p> <p>病院情報システム（電子カルテ）の運営、管理および各部門からの報告に基づいて意見交換を行い、病院全体の情報処理を遂行する。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（3）名、専任（2）名、兼任（5）名  うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（4）名  うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名  うち看護師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名</p> <p>※医師については2名の専任（医療安全管理者）をもって1名の専従と見なしている。</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデント・アクシデント報告への対応</li> <li>・院内死亡・重大事象の報告受付と対応</li> <li>・医療安全管理委員会のための調査・資料作成</li> <li>・有害事象調査委員会・事例検討会のための調査・資料作成</li> <li>・M&amp;M（mortality &amp; morbidity）カンファレンスのための調査</li> <li>・日本医療機能評価機構などへの報告書作成および報告</li> <li>・業務改善計画書に基づく改善策の実施</li> <li>・部署リスクマネージャー連絡会の開催</li> <li>・院内定期ラウンドの実施</li> <li>・職員への周知連絡（インシデント・アクシデント事例の原因分析・改善策）</li> <li>・院内事故調査制度規程の作成（および準備訓練）</li> <li>・職員研修・医療安全研修会の企画立案および実施</li> <li>・新入職員研修（中途採用を含む）の実施</li> <li>・医療安全マニュアルの改訂</li> </ul> <p>※平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療</p>	

<p>技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>① 高難度新規医療技術を用いた医療の提供にあたり病院従事者が遵守すべき事項</p> <p>② 高難度新規医療技術の定義</p> <p>③ 高難度新規医療技術を用いた医療提供の場合の院内での審議の義務</p> <p>④ 高難度新規医療技術を用いた医療提供の場合の院内での承認の義務</p> <p>⑤ 高難度新規医療技術を適用した場合の報告の義務</p> <p>⑥ 高難度新規医療技術が臨床研究として行われる場合の研究計画の妥当性の審議の義務</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( 有・<input checked="" type="checkbox"/> )</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p>	
<p>⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p> <p>・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p> <p>・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>① 未承認新規医薬品等を用いた医療の提供にあたり病院従事者が遵守すべき事項</p> <p>② 未承認医薬品等の定義</p> <p>③ 未承認医薬品等を用いた医療提供の場合の院内での承認の義務</p> <p>④ 未承認医薬品等を適用した場合の報告の義務</p> <p>⑤ 未承認医薬品等が臨床研究として行われる場合の研究計画の妥当性の審議の義務</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( 有・<input checked="" type="checkbox"/> )</p> <p>・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</p>	
<p>⑥ 監査委員会の設置状況</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>・無</p>
<p>・監査委員会の開催状況：年 2 回 (2016年9月8日実施, 2017年2月9日開催予定)</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>監査委員会規程を2016年8月に定め、年2回、病院が実施する医療安全管理業務の適正な運営を確保するため、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者その他必要と認める者の状況について、医療安全管理責任者、及びその他監査委員会として必要と認める者から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施することと、必要に応じ、がん研究会有明病院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行うこととした。</p>	

- ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（  ・ 無 ）
- ・ 委員名簿の公表の有無（  ・ 無 ）
- ・ 委員の選定理由の公表の有無（  ・ 無 ）
- ・ 公表の方法：がん研究会有明病院ホームページ

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
遠山 信幸	自治医科大学 附属さいたま 医療センター 教授（医師）	○	客観的・専門的見 地から意見等を述 べるという委員会 の性格に鑑み、医 療安全を専門とし ている教授(医師) を構成員とした。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
大滝 恭弘	帝京大学板橋 キャンパス医療 共通教育研究 センター 准教授（弁 護士）		客観的・専門的見 地から意見等を述 べるという委員会 の性格に鑑み、法 律の専門家、医療 ジャーナリズムに 詳しい学識経験者 （弁護士）方を構 成員とした。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
滝澤 邦夫	有明友の会 会長 （患者代表）		客観的・専門的見 地から意見等を述 べるという委員会 の性格に鑑み、患 者会代表者の立場 の方を構成員とし た。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
關根 今生	がん研究会 有明病院 医師		以前に、症例検討 会で中心的に関 わっていたこと があり、適切と考 え、構成員とし た。	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	3
斎藤 彰一	がん研究会 有明病院 医師		前職で医療安全 の経験があるた め、適切と考 え、構成員とし た。	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	3

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑦ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年約 500 件（平成 28 年 4 月より実施）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年約 250 件（平成 28 年 4 月より実施）
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容

オンラインシステムを用いて、担当医が医療安全管理部へ報告書を提出する。医療安全管理部で報告書の記載内容を確認しリスト化する。医療安全管理委員会では、定例議題「入院患者死亡報告・重重大事象報告」において、医療安全管理部が調査した内容と共に各事例を検討・評価する。医療安全管理委員会副委員長（医療安全管理者）が、検討・評価結果を添えて病院長へ報告する。

⑧ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（（病院名：静岡県立静岡がんセンター）・無）  
2017 年 2 月に実施予定である。
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（（病院名：国立国際医療研究センター病院）・無）  
2016 年 9 月 26 日（月）に実施した。
- ・技術的助言の実施状況

当日の技術的助言を取りまとめている状況であるため、実施していない。（文書による指摘は、未だ届いていない。）

⑨ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者相談窓口が一括して対応するため、安全管理にかかる相談事例が発生した場合には、窓口担当者（看護師長）から医療安全管理部（医療安全管理者）へ連絡される。

⑩ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・無）

2016 年 9 月に規程を作成し、9 月より監査・コンプライアンス室において窓口業務を開始することとなった。

⑪ 職員研修の実施状況

2016年6月16日に、各部署のリスクマネージャーが出席する部署 RM 連絡会において、特定機能病院の新承認要件について概略を説明した。

7月21日の部署 RM 連絡会では、特定機能病院の新承認要件のうち医療安全管理部門・医療安全管理委員会の業務の変更点と相互ラウンドについて説明した。

9月6日に、すべての診療科責任者が出席する診療部長会に引き続き、管理職を対象に特定機能病院の新承認要件の説明会を実施した。

9月13日の部署 RM 連絡会では、特定機能病院の新承認要件に対する当院の対応状況について説明した。

今後、一般職員を対象とした医療安全研修会において、本内容をテーマとして研修を実施する。

情報周知の効果測定として、医療安全に関する講演会（平成28年9月8日）と、その内容のビデオ上映会（平成28年9月16日、9月30日）で配布するアンケートに新設窓口の存在・役割についての質問を設け、情報の浸透度合いを測る予定である。

⑫ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

医療安全管理部において外部団体が実施する医療安全研修会（病院管理者向け）の予定を調べ、対象者に平成29年度末までに受講させる予定である。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 2012年 公益財団法人日本医療機能評価機構 2015年 国際標準化機構	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 当院ホームページにて情報を公開	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 内科・外科・放射線科・病理診断科・他医療関係職が集う、臓器別 Cancer Board を開催、各症例の検討を実施、治療方針の決定を行っている。	

(様式第 8)

番 号  
平成 28 年 9 月 6 日

厚生労働大臣

殿

公益財団法人 がん研究会有明病院  
公益財団法人 がん研究会  
開設者名 理事長 草刈 隆郎 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

以前より、医療安全担当副院長を医療安全管理責任者と呼んでいた。平成 28 年 8 月 10 日付で「有明病院の院内組織に関する内規」を改正して医療安全管理責任者を組織図に明示すると共に、医療安全担当副院長を医療安全管理責任者として任命し辞令を交付した。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

・「医薬品の安全使用のための業務手順書」を改め（平成 28 年 9 月 6 日付医療安全管理委員会で承認済）、薬剤部薬剤管理室長を「医薬品安全管理担当者」に指名し、医薬品安全管理責任者の活動を補佐する。  
・薬剤部調剤主任、注射主任及び各病棟に配置している先任病棟薬剤師を「医薬品安全管理担当補助者」として薬品安全管理責任者及び担当者の活動を補佐することを、薬剤部組織及び業務分掌規定に明記する。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

以前より、インフォームド・コンセント（IC）委員会において医療を受けるものに対する説明に関する問題を検討している。そこで、平成 28 年 8 月 10 日付で「有明病院の院内組織に関する内規」を改正してインフォームドコンセント管理責任者を組織図に明示すると共に、同委員会の委員長をインフォームドコンセント管理責任者として任命し辞令を交付した。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

以前より医療安全マニュアルの項目「説明と同意」において、説明の実施に必要な具体的方法（診療側・患者側の同席者に関する原則等）に関する院内ルールを定めており、説

明の実施に必要な方法を規定した文章は存在し、対応済である。規程として整えた形式にするための対応を今後行う予定である。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

以前より、診療録管理委員会において診療録等の管理に関する体制を検討・改善している。そこで、平成 28 年 8 月 10 日付で「有明病院の院内組織に関する内規」を改正して診療録管理責任者を組織図に明示すると共に、同委員会の委員長を診療録等管理責任者として任命し辞令を交付した。

6. 規則第 9 条の 23 第 1 項第 10 号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

- ・イおよびロ(1)に記載されている内容は、共に平成 28 年 4 月より実施している。
- ・ロ(2)に記載されている内容（報告が不十分な場合の研修の実施、指導）は、平成 28 年 7 月と 8 月の医療安全管理委員会で指導方法が検討された。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

平成 28 年 9 月 1 日に法人内に担当窓口が設置された。担当者として、当財団のコンプライアンス問題を管理するコンプライアンス室の職員を配置する。職員から提供された情報を元に、コンプライアンス室職員と医療安全管理部門が協力して、医療安全管理の適正な実施が確保できるよう問題を調査し解決する。窓口設置に関しては平成 28 年 9 月 7 日にイントラネットに掲示し、職員へ周知予定。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

現在実施している医療安全管理部の院内巡視では、具体的なチェック項目を定めたチェックシートを用いて記録することで、医療安全に関する状況の把握と職員の意識向上の状況を把握している。病院長の院長回診においても、平成 28 年 10 月からチェック項目を具体化すると共に巡視・回診の記録を作成する。

更に、本年末までに医療安全管理委員会・医療安全管理部による病院内モニタリングの評価項目を定め、モニタリング結果を数値化して現場にフィードバックする。また次年度に導入する e-Learning システムでの機能を利用して、職員のモニタリング結果の認識状況を数値化して意識向上の状況を確認する予定であるので、期限の平成 29 年 3 月までには完了が見込まれる。



9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成 28 年 10 月 1 日付で職制を改正して、医療安全管理部を含む医療クオリティ管理部門に高難度新規医療技術管理部を設置する。同部門には、外科系医師・内科系医師・医療安全管理部専任医師・手術室看護師・臨床工学技士（いずれも兼務）を配置する。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

高難度新規医療技術管理部および高難度新規医療技術評価委員会の規程案は既に作成されており、平成 28 年 9 月 28 日開催の病院運営会議で承認される予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成 28 年 10 月 1 日付で職制を改正して、医療安全管理部を含む医療クオリティ管理部門に未承認新規医薬品等管理部を設置する。同部門には、外科系医師・内科系医師・医療安全管理部専任医師・医療安全管理部専従薬剤師を配置する。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

未承認新規医薬品等管理部および未承認新規医薬品等評価委員会の規程案は既に作成されており、平成 28 年 9 月 28 日開催の病院運営会議で承認される予定である。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

医療安全を専門とする外部医師，外部弁護士，医療を受ける外部委員と内部委員 2 名からなる医療安全監査委員会（委員の任期 2 年）を平成 28 年 8 月 10 日に設置済み。第 1 回委員会は平成 28 年 9 月 8 日に開催予定である。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

本年度は国立国際医療研究センター病院，静岡県立静岡がんセンターと協力して，3 者間で相互ラウンドを実施する。第 1 回として，平成 28 年 9 月 26 日に国立国際医療研究センター病院から当院へ立ち入りを実施し，第 2 回（静岡県立静岡がんセンターが国立国際医療研究センター病院へ立ち入り），第 3 回（当院が静岡県立静岡がんセンターへ立ち入り）が平成 29 年 2 月までに引き続き行われる予定である。

#### 15. 職員研修を実施するための予定措置

平成 28 年 6 月 16 日に、各部署のリスクマネージャーが出席する部署 RM 連絡会において、特定機能病院の新承認要件について概略を説明した。また、7 月 21 日の部署 RM 連絡会において、特定機能病院の新承認要件のうち医療安全管理部門・医療安全管理委員会の業務の変更点と相互ラウンドについて説明した。

平成 28 年 9 月 13 日に当院講堂で、すべての診療科責任者が出席する診療部長会に引き続き、管理職を対象に「特定機能病院の新承認要件説明会」を実施する。この内容はビデオに収録し、ビデオ上映会及び e-Learning によるビデオ研修を実施することで、全職員への周知を図る予定である。

新要件に関わる情報周知の効果測定として、医療安全に関する講演会（平成 28 年 9 月 8 日）と、その内容のビデオ上映会（平成 28 年 9 月 16 日、9 月 30 日）で配布するアンケートに新設窓口の存在・役割についての質問を設け、情報の浸透度合いを測る予定である。

#### 16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

医療安全管理部において、外部団体が実施する医療安全研修会（病院管理者向け）の予定を調べて対象者に 29 年度末までに受講させる予定である。

#### 17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（3）名、専任（2）名、兼任（5）名
- うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（4）名
- うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名
- うち看護師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名

#### 18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

看護師（医療安全管理者）・薬剤師（医療安全管理者）・事務職員は既に 1 名ずつ専従している。医師については実質的に専従しているものの、医療安全管理業務を専従とすることで既に保有している専門医資格を更新することができなくなるのではとの不安があるため、2 名の専任（医療安全管理者）をもって 1 名の専従と見なしている。移行期間の平成 30 年 3 月 31 日までに医療安全専従における専門医資格更新の問題が解決されることを期待する一方で、ローテーションによる兼務医師を教育することで医療安全に専従する医師を養成する、外部から指導的立場の専従医師を獲得することを予定している。